

- ① 県民会議と参加者とで直接議論することにより、現行施策への意見や今後期待する取組等について、参加者からより多くの意見を引き出す。
- ② ①で出た具体な意見のうち、施策に直結するものなどについては、第3期に作成する総合的な評価(中間評価)報告書や時期計画への意見書に取り入れる。

討議シート

区分	ア これまでの取組 ・これまでの取組み成果、事業実施により明らかになった課題や新たな課題の確認、原因分析 等	イ これからの方向性や将来像
(討議時間30分程度)		
1 森について		
・水源の森林づくり		
・丹沢大山の保全再生・土壌保全対策・間伐材の利用・地域水源林整備		
(討議時間30分程度)		
2 水について () () () () () () () () () ()		
・自然浄化型河川の整備 ・地下水保全対策 ・生活排水処理施設の整備		
など		
(討議時間15分程度)		
3 その他		
(討議テーマ例)・相模川上流域(山梨県)での対策・水環境モニタリング・県民参加による水源環境保全・再生の取組・税金について		